

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		日常生活の指導			
目 標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。				
	(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。暦や時計の使い方を理解する。トイレのマナーや食事のマナーを守ることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように伝えたり、話したりすることができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	78
Ⅰ 学期授業時数					78
2 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	90
2 学期授業時数					90
3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	42
3 学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年		作業学習 (織り)			
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。 (学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅰ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	39	
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7	
	「織り機の使い方を知る」 ・糸の掛け方 ・織り方 など	(知) 織り機の各部の名称や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り機の安全な使い方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考えることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	10	
	「布を織る」 ・糸掛け ・布を織る	(知) 織り機の各部の名称や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り機の安全な使い方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考える。 製品化するイメージをもちながら、幅や長さ等に留意して布を織ることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	50	
	「専門性の高い製品作り(Ⅰ)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14	
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
Ⅰ学期授業時数				123.5	
2 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅱ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	45	
	「さまりで製品作り(Ⅰ)」 ・ヘアゴム ・コースター ・バッチ ・ネグストラップ ・小物 など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	44	
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の仮設め ・接客練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理に方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとすることができる。 (学) 販売活動の意欲を理解し、意欲的に取り組もうとする態度を養う。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22	
	「専門性の高い製品作り(Ⅱ)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14	
	「さまりで製品作り(Ⅱ)」 (ビーズデパートに向けて) ・カードケース ・キーホルダー ・シェジュ ・ヘアバンド など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする態度を養う。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	14	
	「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
2学期授業時数				142.5	
3 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅲ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21	
	「さまりで製品作り(Ⅲ)」 (みなとフェスタに向けて) ・トートバッグ ・ポーチ ・ペンケース など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする態度を養う。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41	
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5	
3学期授業時数				66.5	
総授業時数				332.5	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年		作業学習 (陶芸)			
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。 (学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅰ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	39
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「製品作り」 ・丸皿 ・四角皿など		(知) 成形板やたた板、伸ばし棒等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	35
	「文化祭に向けた製品作り」 ・丸皿 ・四角皿 ・茶わん ・茶味皿など		(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	25
	「専門性の高い製品作り(Ⅰ)」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上げるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
Ⅰ学期授業時数					123.5
2 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅱ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	45
	「様々な種類の土や釉薬を使った製品作り」		(知) 五斗土、黒陶土、赤土などの特徴を理解し、道具(成形板、石膏、ろくろ)等の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	37
	「文化祭に向けた製品作り」 ・進のみ茶わん ・マグカップ ・コップ ・箸置きなど		(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業や作りたい製品を見つけようとする態度を養う。	グループ	21
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の包装 ・接客練習 など		(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとすることができる。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとすることができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り(Ⅱ)」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上げるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
2学期授業時数					142.5
3 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅲ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21
	「製品作り」 ・マグカップ ・茶わん ・小物など		(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3学期授業時数					66.5
総授業時数					332.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書	
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		作業学習 (ハンドクラフト)		
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。			
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。			
	(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	・「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	グループ	39
	・「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	・「ミシンを使用した製品作り」 ・ポケットティッシュカバー ・カードケース ・シシュシ など	(知) ミシンやアイロン、裁縫道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。	グループ	35
	・「紙を使用した製品作り」 ・御朱印帳 ・封筒 ・ポチ袋 など	(知) 紙の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具(カッター、のり、定規など)の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。	グループ	25
	・「製品づくり」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	・「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
Ⅰ学期授業時数				123.5
Ⅱ 学 期	・「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。		45
	・「革やフェイクレザーを使用した製品作り」 ・キーケース ・キーホルダー ・ペンケース など	(知) 革やフェイクレザーの特徴を理解し、道具(革用パンチ、目打ち、金具、接着剤)の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	23
	・「輪ゴムや紙を使用した製品作り」 ・輪ゴムプレスレット ・ポチ袋、ゴミ袋 ・封筒 など	(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業や作りたい製品を見付けようとする態度を養う。	グループ	21
	・「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の役割め ・接客練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動を振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとするすることができる。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとすることができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	・「製品作り」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	・「生徒が企画で製品の製作」 ・製作するものの調査 (調べる、アンケートなど) ・製作に向けた準備 など	(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法(アンケートの作成、集約、情報収集など)を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	14
	・「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
2学期授業時数				142.5
Ⅲ 学 期	・「給食配膳・清掃」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	21
	・「生徒が企画で製品の製作・販売」 ・製作、販売	(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法(アンケートの作成、集約、情報収集など)を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	41
	・「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3学期授業時数				66.5
総授業時数				332.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		チャレンジタイム	①どうとく きみがいちばんひかるとき 3ねん（光村図書出版）		
目 標	(知) 集団や職場での関わり方や、社会的自立に向けて必要な知識や技能を習得できるようにする。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを考え、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性やコミュニケーション力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に入り、主体的に取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	検定の取り組み (自在ぼうき、ダスタークロス、パソコンなど)		(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組む、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	2
	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	学級	2
	道徳 「礼儀」	①	(知) 生命の尊さを知ることができる。 (思) 生命とは何かを考えたり、身近な生命の大切さについて表現したりすることができる。 (学) 生命あるものを大切にしようすることができる。	学級	2.5
Ⅰ 学期授業時数					6.5
2 学 期	検定の取り組み (自在ぼうき、ダスタークロス、パソコンなど)		(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組む、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	2
	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	学級	2
	道徳 「善悪の判断、自律、自由と責任」	①	(知) 良いことと悪いことを区別することができる。 (思) 是悪を自律的に判断したり、責任ある行動をしようとしたりすることができる。 (学) 自分から進んで良いと思うことを行うことができる。	学級	3.5
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける	学級	2
	道徳 「生命の尊さ」	①	(知) 気持ちの良い挨拶や言葉遣い、動作、礼儀などを知ることができる。 (思) 気持ちの良い挨拶等について考え、実践しようすることができる。 (学) 時と場をわきまえて、実践することができる。	学級	1.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		国語科	①国語「国語☆☆☆☆」 （東京書籍）		
目 標	(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。				
	(思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。				
	(学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「声に出して読もう2」【読書指導】 ・教科書や本を音読し、おおよその内容をつかむ。	①	(知) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えを持つことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「体育祭の思い出を書こう2」 ・体育祭の思い出を作文等で表現し、作成した作文を発表する。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「文字や言葉を知ろう」 ・修飾語やこそあど言葉について知る。	①	(知) 修飾語やこそあど言葉について理解を深め、文章の組み立てについての知識を深める。 (思)間違いを修正したり、相手に伝わる正しい文を作る力を作ろうとする意識を持たせる。 (学)言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上させようとする態度を培う。	学級	5
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「丁寧語や敬語について知ろう2」 ・丁寧語と尊敬語の分類をする。 ・会話文などのプリント学習で、正しく書き換えたり、答える方法について知る。 ・状況によってどのように言ったらよいかを考える。	①	(知) 相手や目的に応じて、丁寧語や敬語を使用できるよう、その違いに注意して意識的に使い分けすることができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	7
	「ことわざ・慣用句を学ぼう2」 ・ことわざや慣用句の意味を調べる。	①	(知)生活に身近なことわざや慣用句について理解し、それを適切な場面で使うことができる。 (思)文章を読んで理解したことにについて、感想や考えを持つことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
	「表現しよう（俳句、短歌）2」 ・俳句、短歌の基礎知識を知る。 ・有名な俳句、短歌を覚える。 ・俳句、短歌を作り、発表する。	①	(知) 生活に身近な俳句や短歌などを知り、言葉の世界を広げることができる。 (思) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	4
2 学期授業時数					15
3 学 期	「言葉のページ」 ・形を整えて書く。 ・漢字の成り立ちについて知る。	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
	「思い出の作文や手紙を書こう」 ・1年間の思い出を振り返り、活動したこと、思いを表現する。 ・相手や目的など感謝の気持ちを伝える書き方を知る。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		数学科	①数学「くらしに役立つ数学」(東洋館)		
目標	(知)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けることができる。 (思)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 (学)数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、学習を振り返ってより良く問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「数と計算の学習をしよう3」 ・基本的な四則計算 ・3位数の加法、減法、筆算 ・4位数の加法、減法、筆算	①	(知)整数の概念や性質について理解を深め、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができる。 (思)数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、日常生活の場面を数量に着目して捉えたりすることができる。 (学)数学的に表現・処理するとともに数学で学んだことの良さに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	8
	「図形の学習をしよう2」 ・二等辺三角形や正三角形などについて知ること ・二等辺三角形や正三角形の作図 ・三角形や四角形の面積の求め方について知ること	①	(知)二等辺三角形や正三角形の基本的な図形について理解したり、図形を作図したりする。 (思)二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素について着目し、図形の性質から考察する力を養う。 (学)図形について進んで関り、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「数と計算の学習をしよう5」 ・小数と分数について知ること ・小数と分数の四則計算	①	(知)小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりする技能を身に付ける。 (思)数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道を立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
	「金銭」 ・金銭の支払い方 ・計算機を使用した計算 ・簡単な買い物学習を通して金銭を取り扱うこと	①	(知)数量とその関係を表したり、読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思)数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道を立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	6
	「変化の関係を学習しよう2」 ・伴って変わる二つの数量	①	(知)比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。 (思)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学の良さに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	4
2学期授業時数					15
3 学 期	「数と計算の学習をしよう4」 ・小数と分数について知ること ・小数と分数の四則計算	①	(知)小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりする技能を身に付ける。 (思)数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道を立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学)数量について数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	2
	「データを活用しよう2」 ・天気、気温など身の回りの事象を分類したり、整理したりすること	①	(知)データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 (思)身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。 (学)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年		音楽科	①音楽「音楽☆☆☆☆」（東京書籍）		
単一Ⅱ類型					
目標	（知）曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 （思）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学）主体的に楽しく音や音楽に関わり、協同して音楽活動を楽しむさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「季節の歌を歌おう」 ・春、夏を感じることができる曲を歌う活動。	①	（知）歌唱の活動を通して、曲名や曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 （知）器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 （知）音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 （知）身体表現活動の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 （知）鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見いだし曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解することができる。 （思）歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 （思）器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい雰囲気表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 （思）音楽づくりの活動を通して、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることや、音を音楽へと構成することについて、思いや意図をもつことができる。	類型 学級	4
	「合唱に取り組もうⅠ」 ・複数の声部に分かれて合唱に取り組む活動。	①			2
	「学年集会に向けて取り組もうⅠ」 ・学年集会に向けて、合唱や器楽に取り組む活動。	①			3
	「リズムを楽しもう」 ・いろいろなリズムを覚え、音楽に合わせて表現する活動。	①			1
	「いろいろな楽器で楽しもう」 ・さまざまな楽器に触れ、演奏する活動。	①			2
	「鑑賞Ⅰ」 ・音楽を鑑賞する活動。	①			1
Ⅰ学期授業時数					13
2学期	「季節の歌を歌おう（秋・冬）」 ・秋・冬を感じることができる曲を歌う活動。 ・クリスマスソングを歌う活動。	①	（思）身体表現の活動を通して、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。 （知）鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴いたり、曲想と音楽の構造などとの関わりについて分けることができる。 （学）主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 ※年間を通して指導する目標として、以上のように設定する。	類型 学級	3
	「合唱に取り組もう2」 ・二部合唱に取り組む活動。	①			4
	「学年集会に向けて取り組もう2」 ・学年集会に向けて、合唱や合奏に取り組む活動。	①			3
	「合奏に取り組もう」 ・複数の楽器パートに分かれて、合奏に取り組む活動。	①			4
	「鑑賞2」 ・音楽を鑑賞する活動。	①			1
2学期授業時数					15
3学期	「学年集会に向けて取り組もう3」 ・学年集会に向けて、合唱や合奏に取り組む活動。	①		類型 学級	3
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式で歌う歌を練習。	①			2
	「鑑賞3」 ・音楽を鑑賞する活動。	①			1
	「まとめをしよう」 ・1年間を振り返り、歌ったり演奏したりする活動。	①			1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画」(小学館)		
目 標	(知) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。				
	(思) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。				
	(学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜び味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「絵手紙を描こう」 ○身の回りのものをモチーフにしたり、タブレット端末で撮影したモチーフの写真を利用したりして描く描画活動 ・モチーフを決めてスケッチブックに下絵制作 ・絵手紙用のはがきに墨と筆で輪郭等の描写 ・顔彩を使つての彩色 ・作品の展示、鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解して、作品を描くことができる。 (思) 墨の濃淡、線の強弱などを意識して表現することができる。 (学) 絵手紙を描く活動を通して創造活動の喜びを味わう態度を養うと共に、友達 の作品の良さを 感じ取る態度を養う。	学級	8
	「生活の中からモチーフを見付けて描こう」 ○身の回りものや人をモチーフとした描画活動 ・テーマ決めと下絵制作 ・鉛筆を用いての輪郭の描写 ・クレヨンや絵の具などの道具を用いての着色 ・作品の展示、鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり色を塗ったりして丁寧に描くことができる。 (思) 身の周りの物や人をモチーフにして、よく観察して描き表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じるとともに、友達 の作品の良さを 感じ取る態度を養う。	学級	5
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「生活の中からモチーフを見付けて描こう」 ○身の回りものや人をモチーフとした描画活動 ・テーマ決めと下絵制作 ・鉛筆を用いての輪郭の描写 ・クレヨンや絵の具などの道具を用いての着色 ・作品の展示、鑑賞	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり色を塗ったりして丁寧に描くことができる。 (思) 身の周りの物や人をモチーフにして、よく観察して描き表現することができる。 (学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じるとともに、友達 の作品の良さを 感じ取る態度を養う。	学級	5
	「スクラッチアートに取り組もう」 ○スクラッチの技法を用いた表現 ・スクラッチの技法の理解 ・クレヨンや絵の具を用いた表現 ・作品の鑑賞、展示	①	(知) 材料や道具の扱い方を理解して、作品を作ることができる。 (思) スクラッチの技法を使い、削り方を工夫しながら表現することができる。 (学) スクラッチアートを制作する活動を通して創造活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	10
2学期授業時数					15
3 学 期	「起き上がり小法師を作ろう」 ・伝統工芸(会津張り子細工)についての理解 ・制作工程や技法の理解 ・デザインの検討、作成 ・新聞紙、和紙、折り紙などを用いた立体作品の創作活動 ・アクリル絵の具などによる着色および描写 ・作品の鑑賞	①	(知) 作り方の手順を理解し、立体を意識して道具や材料をを適切に扱いながら作ることができる。 (思) 民芸の歴史や作品に触れ、伝統を踏まえつつ独自のデザインやアイデアを作品に生かして表現することができる。 (学) 鑑賞を通して自他の作品を評価し、お互いの良さを讃え合い、創作活動の喜びを味わう態度を養う。	学級	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単Ⅱ類型		保健体育科	①保健体育「ドキドキワクワク性教育(2)大切なからだ・こころ」 (少年写真新聞社)		
目標	(知) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。 (思) 運動や健康・安全について自分の課題を理解し、その解決に向けて仲間と考え判断したり、伝えたりする力を身に付ける。 (学) 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「体づくり運動」(体力づくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		(知) 体はぐしの運動体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わいその行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体はぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体はぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	26
	「体育祭の取組」(体操、集団演技) ・学年種目練習 ・入退場練習 ・全体練習		(知) 集団演技の内容などを理解し、基本的な動作の正しい動き方を身に付ける。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 仲間と協力して種目などの練習に取り組もうとする気持ちや態度を養う。	学年 類型 学級	8
	「新体力テスト」 ・握力・上体起こし・長座体前屈・50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ		(知) 自己の体力について知ることができる。 (思) 体力テストを通して、自己の運動の課題を見付けることができる。 (学) 体力テストに主体的に取り組む気持ちや態度を養う。	類型	3
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・ディスクゴルフ ・ポッチャなど		(知) 場所や道具の安全に気を付けて種目に取り組むことができる。 (思) ニュースポーツについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	2
Ⅰ学期授業時数					39
2学期	「体づくり運動」(体力づくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		Ⅰ学期と同目標	類型 学級	30
	「水泳」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		(知) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとする態度を養う。	類型	6
	「球技」 ・ネット型(ソフトバレーボール、バレーボール、卓球、バドミントンなど) ・ベースボール型(キックベースボール、ティーボールなど)		(知) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えたりすることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしようとする態度を養う。	類型	5
	「保健」(性の学習) ・異性への関心 ・男女のエチケット	①	(知) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。	類型 学級	2
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・ディスクゴルフ ・ポッチャなど		Ⅰ学期と同目標	類型	2
2学期授業時数					45

3 学 期	「体づくり運動」（体カづくり） ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		I 学期と目標	類型 学級	14
	「陸上競技」 ・ハードル走 ・リレーなど		（知）記録を更新する楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解することができる。 （思）陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （学）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	3
	「ダンス」（体育祭の取組） ・学年種目練習（「南中ソーラン」など）		（知）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。 （思）ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 （学）ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をする態度を養う。	類型	4
3 学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		職業科	①「ひとりだちするための進路学習」（日本教育研究出版社）		
目標	(知) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。				
	(学) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定	①	(知) 職業科の一年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 将来の職業生活について、考えることができる。 (学) より良い将来の職業生活の実現に向けて、取組を行おうとする態度を養う。	学級	2
	「職場体験実習事前学習」 ・実習への心構え ・目標設定 ・態度と服装 ・（帰宅連絡の仕方）	①	(知) 職場体験実習における基本的な態度や服装、仕事内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	3
	「いろいろな職業について知ろう（Ⅰ）」 ・職種と仕事内容の理解	①	(知) いろいろな職業に関する職種と仕事内容を理解することができる。 (思) 将来の職業生活について自分で考え、身に付けた方が良いことについて考えることができる。 (学) 職業生活に必要な思考力・判断力・表現力を付けようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「ビジネスマナー（Ⅰ）」 ・清潔と身だしなみ ・言葉遣いと態度 ・ルールとマナー ・面接指導	①	(知) 社会人として適切な身だしなみや言葉遣い、態度などについて知ることができる。 (思) 社会人として適切な身だしなみや言葉遣い、態度などを他者と協働しながら考えることができる。 (学) 社会生活の場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な態度を養う。	類型 学級	5
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ 学期	「ビジネスマナー（Ⅱ）」 ・職場における言葉遣いや敬語 ・職場でよく使う言葉について	①	(知) 職場における適切な言葉遣いや敬語について知ることができる。 (思) 職場における言葉遣いや敬語の適切な使い方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場における基本的な言葉を使うロールプレイングを行うことで、実践的な態度を養う。	類型 学級	5
	「いろいろな職業について知ろう（Ⅱ）」 ・職種と仕事内容の理解	①	(知) いろいろな職業に関する職種と仕事内容を理解することができる。 (思) 将来の職業生活について自分で考え、身に付けた方が良いことについて考えることができる。 (学) 職場で必要な思考力・判断力・表現力を付けようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「職場体験実習報告会（Ⅰ）」		(知) 友達の記事を聞き、実習内容や頑張りを知ることができる。 (思) 実習を振り返り、今後の学校生活の目標を考えることができる。 (学) 実習で、できたことやアドバイスを受けたことを評価し合い、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型 学級	2
	「コミュニケーションスキルの学習」 ・電話の掛け方、電話の受け方 ・報告、連絡、相談 ・人と話す時の態度	①	(知) 社会人として適切な言葉遣い、態度などについて知ることができる。 (思) 社会人として適切な言葉遣い、態度などを他者と共同しながら考えることができる。 (学) 社会生活に応じたロールプレイングを行うことで、実践的な態度を養う。	類型 学級	5
Ⅱ学期授業時数					15
Ⅲ 学期	「いろいろな楽しみを見付けよう」 ・事前学習 ・交流・スポーツ体験 ・事後学習		(知) 心身障害者スポーツセンターのいろいろな活動について知ることができる。 (思) 交流やスポーツ体験を通して、楽しさや心地よさを感じることで余暇の楽しみ方について考えることができる。 (学) 卒業後の生活に向けて、より良い生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型	4
	「職場体験実習報告会（Ⅱ）」		(知) 友達の記事を聞き、実習内容や頑張りを知ることができる。 (思) 実習を振り返り、今後の学校生活の目標を考えることができる。 (学) 実習で、できたことやアドバイスを受けたことを評価し合い、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	類型	1
	「1年間のまとめ」 ・2年生の振り返り ・卒業後の進路について	①	(知) 卒業後の生活の場に関して、特徴などを理解することができる。 (思) 自分の将来の生活についてイメージし、考えることができる。 (学) 将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	学級	2
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		家庭科	①家庭「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」 (開隆堂出版)		
目標	(知) 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学) 家族や地域の人々との関りを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「オリエンテーション」 ・Ⅰ年間の学習内容について	①	(知) 家庭のⅠ年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
	「衣服をきれいにしよう」 ・衣服の素材 ・衣類の表示 ・アイロンのかけ方	①	(知) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ方法を知る。 (思) 日常着の手入れをより良く仕上げるための工夫について気付いたり、考えたり、表現したりすることができる。 (学) 日常着の手入れ方法を理解し、主体的に行おうとする態度を養う	類型 学級	4
	「食事の計画をたてよう」 ・献立を考える ・食品の選び方 ・カレーライスを作ろう	①	(知) 食事作りの手順として献立をたて、食品の選び方や保存方法を知る。 (思) 献立をたて、適切な食品の選び方や保存方法を含めた食事計画ををたてる力を養う。 (学) 家庭においても、食事の計画を日常生活においても、取り入れる態度を養う。	類型 学級	8
Ⅰ学期授業時数					13
2学期	「上手な買い物をしよう」 ・購入方法 ・支払方法	①	(知) 物品の購入方法や支払い方法の特徴や注意点を知る。 (思) お金の使い方について自分自身を振り返り、考えることができる。 (学) 学んだことを日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	類型 学級	3
	「バランスのよい食事をしよう」 ・栄養と食品の関係 ・Ⅰ食分の献立を考えて作ろう	①	(知) 食品の種類とその特徴、栄養と栄養素について理解することができる。 (思) 栄養バランスの取れた食事について考えることができる。 (学) 栄養バランスについて考え、生活の中に取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	8
	「高齢の方とお話をしよう」 ・高齢の方との関わり方をしよう ・昔の話を聞こう	①	(知) 高齢者の様子について知り、関わり方の注意点を知る。 (思) 高齢者との関りを適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学) 高齢者等に対して自分から主体的に支援に関わろうとする態度を養う。	類型 学級	4
2学期授業時数					15
3学期	「手芸をしよう」 ・アクリル毛糸でエコたわしの制作	①	(知) 手芸の特徴や工程について知り、段ボール織りの技法を身に付ける。 (思) 良い製品を製作するための課題や工夫について考えたり、表現したりすることができる。 (学) 手芸に関わる製作に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。	類型 学級	3
	「住まいや暮らし方を考えよう」 ・健康で快適な住まい ・大掃除	①	(知) 家族の生活と住空間の関りや住居の基本的な機能について知る。 (思) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現する。 (学) 住居の管理について主体的に考え、自分の生活に生かそうとする態度を養う。	類型 学級	3
	「Ⅰ年間の学習を振り返ろう」	①	(知) Ⅰ年間の学習で身についた家庭生活の知識を確認する。 (思) 将来の家庭生活について、考えようとする力を養う。 (学) 学んだことを生かし、家庭生活に取り入れる態度を養う。	類型 学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		外国語科	①外国語「CDつき小学生の英語レッスン 絵で見て学ぼう英会話」 (成美堂出版)		
目 標	(知) 外国語に親しみ、実際のコミュニケーション場面で活用できる基礎的な技能を身に付ける。				
	(思) 基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えたり相手のことを聞いたりし、コミュニケーションを図ろうとすることができる。				
	(学) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「英語で話そう(1)」 ・自己紹介	①	(知) 自己紹介で用いる簡単な表現やローマ字について知ることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを用いて、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 身の回りのローマ字表記に関心をもつ態度を養う。	学級	3
	「英語で話そう(2)」 ・他己紹介	①	(知) 好きなものや得意なことを尋ねる表現を知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
	「英語を聞こう(1)」 ・動画の視聴 ・歌のリスニング ・絵本の読み聞かせ	①	(知) 外国語の音声に親しむことができる。 (思) 日本と外国の文化、風習の違いについて考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	3
	「異文化理解(1)」 ・ジェスチャー	①	(知) 外国のジェスチャーについて知ることができる。 (思) 相手に配慮したコミュニケーションの取り方について考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	1
	「英語で話そう(3)」 ・物事を尋ねる表現 「これは何？」	①	(知) 物事を尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ 学 期	「英語で話そう(4)」 ・人について尋ねる表現 「彼はだれ？」	①	(知) 人について尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
	「英語で話そう(5)」 ・理由を尋ねる表現 「なぜ？」	①	(知) 理由を尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
	「異文化理解(2)」 ・じゃんけん ・動物の鳴き声	①	(知) 外国語のじゃんけんや動物の鳴き声などについて知ることができる。 (思) 相手に配慮したコミュニケーションの取り方について考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	1
	「英語を聞こう(2)」 ・動画の視聴 ・歌のリスニング ・絵本の読み聞かせ	①	(知) 外国語の音声に親しむことができる。 (思) 日本と外国の文化、風習の違いについて考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	2
	「英語で話そう(6)」 ・場所を尋ねる表現 ・「どこ？」	①	(知) 場所を尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
	「英語で話そう(7)」 ・得意なことや苦手なことを尋ねる表現 「これできる？」	①	(知) 得意なことや苦手なことを尋ねる表現を知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
Ⅱ学期授業時数					15
Ⅲ 学 期	「英語で話そう(8)」 ・値段を尋ねる表現 「これいくら？」	①	(知) 値段を尋ねる表現を知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
	「異文化理解(3)」 ・祝日 ・お祝いの表現 「明けましておめでとう！」「おめでとう！」「誕生日おめでとう！」	①	(知) 外国の祝日やお祝いの表現などについて知ることができる。 (思) 相手に配慮したコミュニケーションの取り方について考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	1
	「英語で話そう(9)」 ・物事を尋ねる表現 「いつ？」	①	(知) 時間や時を尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	3
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		特別活動			
目 標	(知) 友達と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。				
	(思) 集団生活における課題を見出し、解決するために話し合ったり、意思決定したりすることができる。				
	(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級組織作り（Ⅰ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・Ⅰ学期の目標決め		(知) 新しい友達やⅠ学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「ホームルームでの取組（Ⅰ）」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	9
	「学部集会（Ⅰ）」 ・新入生歓迎会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「学級組織作り（Ⅱ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め		(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「ホームルームでの取組（Ⅱ）」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	10
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画		(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えてたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 友達と協力して活動する態度、集団での活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	学級	2
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	学級	1
2学期授業時数					15
3 学 期	「学級組織作り（Ⅲ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め ・一年間の振り返り		(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	学級	2
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票 ・委任状渡し		(知) 学校生活の充実ため、生徒会の組織作りを行う生徒会選挙の目的を理解し、選挙の投票の仕方を理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら自分で判断して投票することができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「ホームルームでの取組（Ⅲ）」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	2
	「学部集会（Ⅱ）」 ・3年生を送る会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年		自立活動			
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 自分の課題を改善し・克服し、自立し、社会参加をするための知識や技能を身に付けることができる。				
	(思) 自己評価や相互評価を行いながら自分の課題を見つめ、支援を求めたり、仲間と協力したりして課題を解決しようとすることができる。				
	(学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり努力したりする気持ちを養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	8
	「仲間と気持ち良く過ごすために」 【2 心理的な安定ー(1)】 ・気持ちを伝える言葉、リラクゼーション ・気持ちの切り替え、ミニゲーム、トーキングゲーム など		(知) 気持ちを表現する言葉や自分の気持ちを落ち着けられる方法を理解することができる。 (思) 気持ちを表現する言葉や自分が落ち着ける方法を活用し、仲間とともに安心して過ごすことができる。 (学) 自分の状況を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「運動を習慣化しよう」 【1 健康の保持ー(5)】 【身体の動きー(1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチなど		(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「作業学習に必要な動作を身に付けよう」 【5 身体の動きー(5)】 ・目と手の協応動作、手足の協調運動 ・ビジョントレーニング ・コグトレ		(知) 作業を進めるにあたって必要な手指の巧緻性や持続性を高めることができる。 (思) 自分の課題を知り、改善を図るために最後まで取り組むことができる。 (学) 自分の良さや課題について知り、改善をしたり努力したりする気持ちを養う。		6
Ⅰ学期授業時数					26
2学期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	12
	「スケジュール管理をしよう」 【4 環境の把握ー(3)】 ・スケジュールの確認 ・メモの取り方		(知) 自分の日程を把握し、今後の行動に見通しをもつことができる。 (思) 自分の行動を視覚的に把握し、行動を調整することができる。 (学) 自分の状況を理解し、自分から対応しようとする態度を養う。		6
	「自分をコントロールしよう」 【3 人間関係の形成ー(3)】 ・アンガーマネジメント		(知) 自分の気持ちを視覚化し、集団の中で状況に応じた行動をすることができる。 (思) 学習を通して自己状態を分析したり、行動を調整したりすることができる。 (学) 自分の状態を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
	「運動を習慣化しよう」 【1 健康の保持ー(5)】 【身体の動きー(1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2、ヨガ、ストレッチなど		(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		6
2学期授業時数					30
3学期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	類型 学級 個別	7
	「正しい言葉を知り、活用しよう」 【6 コミュニケーションー(3)】 ・言葉集め、説明しりとり等のミニゲーム ・コミュニケーションスキル、すごろく ・ペア活動		(知) 言葉の意味、正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションをする中で適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを養う。		7
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第2学年 単一Ⅱ類型		総合的な探究の時間			
目 標	(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、課題を解決したりすることの大切さを知る。				
	(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理して表現することができる。				
	(学) 課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組み、より良い社会を実現しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「総合的な探究の時間について知ろう」 ・オリエンテーション		(知) 1年間の総合的な探究の時間についての大切さを理解する。 (思) 1年間の総合的な探究の時間について知り、そのために身に付けておくことを考える。 (学) 総合的な探究の時間についての必要性を感じ、意欲・関心を高める。	学級	1
	「平和について考える」		(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて考えたりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自ら調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に取り組み、周囲へ発信したり、仲間と一緒に活動したりすることを通して、仲間や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。	学級	4
	「修学旅行の取組(Ⅰ)」【校外学習】 ・オリエンテーション ・役割分担 ・目標決め ・係会		(知) 修学旅行の活動先やその地域のことについて理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域のことについて、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする気持ちを養う。	類型 学級	8
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「修学旅行の取組(2)」 ・係会 ・活動計画 ・広島駅下見 ・しおり作成 ・マナーの学習 ・結団式 ・事後学習		(知) 修学旅行の活動先やその地域のことについて理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域のことについて、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする気持ちを養う。	類型 学級	11
	「国際理解学習」 ・外国の文化について知る。 ・会話や音楽など体験・交流をする。		(知) 世界の文化に触れることで、国際理解学習の必要性について知る。 (思) 世界の言語や音楽、食文化などを知り、見聞を広める。 (学) 国際理解学習について興味関心を深める。	類型 学級	4
2学期授業時数					15
3 学 期	「身近なICTの使い方について知ろう」 ・ネットワークの使い方 ・SNSトラブルについて ・適切な使用を目指して		(知) 身近にあるネットワークやSNSが人や社会に及ぼすことについて知ることができる。 (思) ネットワークやSNSとの関わり方について考えたり、発表したりすることができる。 (学) 正しいインターネットの使い方を知り、責任ある行動をしようとする態度を養う。	学級	4
	「ボランティア活動をしよう」 ・オリエンテーション ・学校(本校舎外周)清掃		(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動のために意見を伝える、情報を収集・分析する、それに基づき改善するなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的かつ協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	類型 学級	3
3学期授業時数					7
総授業時数					35